



第13号

みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

発行日
平成15年 9月 1日

◇ 目 次 ◇

- | | |
|------------------|-------------------|
| P2 宮島探鳥会、三高砲台跡探訪 | P6 投稿 イギリス紀行 岩崎さん |
| P3 名板取り付け (杉の浦道) | P7 安井さんご逝去、編集後記 |
| P4 JPR 第1回 7/5~6 | P8 事務局からの連絡事項 |
| P5 於包ヶ浦自然公園 | PV 行事参加状況、行事予定 |



宮島の水中花火大会

波静かな世界文化遺産“厳島神社”前の海面から水中花火が打ち上げられると海に浮かぶ朱の大鳥居はその瞬間黒の影絵に変貌する。

30ノットの全速で走る花火船から直径30cmの花火玉に点火し、海に投げ込むと25秒後水面に浮き上がると同時に玉は炸裂する。

やがて、人は椰子の葉っぱのようだ、いや広島平和公園の噴水だと観客のざわめきと

歓声に沸きかえるのが、宮島の夏の風物詩 8月14日の水中花火大会です。

(写真・文 中道 勉)

環境省 瀬戸内海国立公園3地区 パークボランティア交流会

日時 9月27日(土) 28日(日)

場所 宮島国民宿舎「杜の宿」

9月27日 12:00 受付開始

13:00~交流会

18:00~懇親会

9月28日 8:00~弥山登山 12:00 解散

サンコウチョウ（三光鳥）を見ました・・・

宮島で初めての探鳥会（自主研修会）

日時 6月8日（日）9：00～12：00

場所 大元公園他

インストラクター 環境省鳥類標識調査員

近藤さん（会員）河野一成（特別参加）

参加者 桧垣自然保護官

足立 岩崎 小川 近藤 新川 末原

中道 野呂田 平田 佛崎 古川

前田（勲） 前田（正） 舛田 丸平

村上 森川 安井 柳瀬 矢吹

山根 横山（22名）

当会では初めて宮島で探鳥会（自主研修会）を実施しました。

珍しい企画ということもあって予想を上回る多数の会員に参加していただきました。

コースは宮島棧橋～山辺の小道～うぐいす道～もみじ道～あせび道～大元公園

まずは、厳島神社の上空を雄大に飛翔するワシタカ科の大形鳥のお出迎え「あれはミサゴかトビか？」続いて役場横の大樹の頂にゆったりと鎮座します神のお使いカラス様「ハシボソかハシブトカラスか？」

野鳥の囀りをゆっくりと聞きながら大元公園へ向かう。

ここではお目当てのサンコウチョウを運良く見た人と駄目だった人に、明暗が分かれました。

少し山へ向かってオオルリ、これはどうやら鳴き声だけのようでした。

しめくくりは水鳥、水晶山の森中に巣籠もり中のアオサギを望遠鏡でじっくり観察。

最後にインストラクターから「今日は大人数のためトリたちも吃驚?? 小人数でゆっくりと観察すれば、もっと多くの鳥に出会えま～す。」

今日出会ったトリたちは・・・

スズメ ツバメ メジロ ヒヨ トビ ハシボソカラス カワラヒバ ホトトギス アオゲラ キビタキ コゲラ ウグイス ドバト キジバト サンコウチョウ コサギ アオサギ セグロセキレイ

（村上 記）

三高砲台跡を探訪

鷹ノ巣の対岸沖美町

日時 6月14日（土）9：00

集合場所 宮島口棧橋

参加者

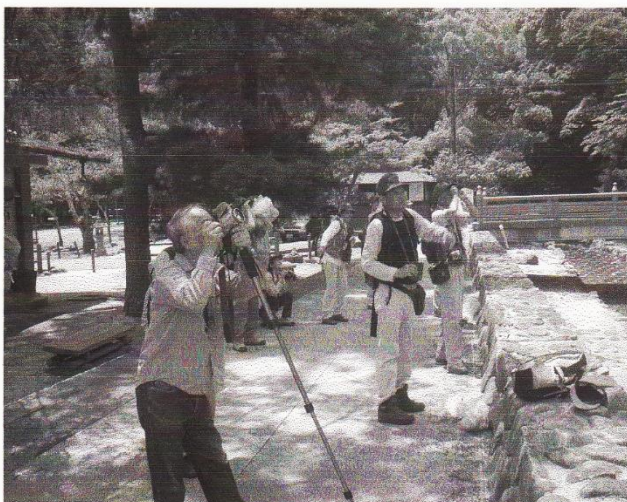
足立 池下 島 新川 末原 中道 中本

名越 平田 平山 古川 前田（正）村上

柳瀬 矢吹（現地で合流）横山

今まで3回にわたり鷹ノ巣砲台跡の整備をすすめてきましたが、同じような遺跡がある対岸沖美町の三高砲台跡を探訪することとなり、当初4月19日（土）に計画しましたが雨天のため6月14日に延期しました。

梅雨入り直後で、当日も朝から雨模様の、



樹上のアオサギを観察



三高砲台跡探訪参加者

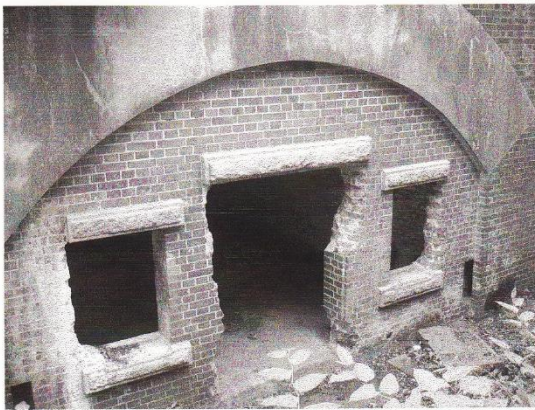
あいにくの天気となり心配しましたが、天気予報通り、昼前には雨も上がり無事砲台跡を探訪できました。

現地への交通手段として陸路の場合、呉、音戸大橋を経由すると確実に2時間以上かかるのですが、今回は広大植物実験所、向井さんのご好意で宮島口から美能港まで海路、向井さん所有のボートで送っていただき、短時間で沖美町に行くことができました。

砲台山(400m)へ登る途中の遊歩道は多種類の植物が生育しており、砲台跡探訪の前に予定外の観察会にもなりました。

三高の砲台跡は鷹ノ巣と同時期に構築されたものですが、保存状態が良いだけでなく、沖美町が砲台山公園として整備してきたため、道路、駐車場、トイレも完備し、階段脇には転落防止用の手すりも設置されています。

参加者一同、今後の鷹ノ巣砲台跡整備に大いに参考になったものと思われま



↑(殆ど破損していない煉瓦構造物)



↑(保存状態の良い兵舎跡)

樹木名板取り付け

杉の浦旧道沿い

日時 8月23日(土) 9:00~15:00

場所 宮島栈橋前集合

参加者

足立 池下 小方(嗣) 小川 島 末原
高光 中本 名越 野呂田 平山 前田
(勲) 舛田 村上 森 柳瀬 山根 横山

最初に横山会長から、安井会員が3日前、不慮の事故でご逝去されたという悲しい報告がなされ、参加者全員で黙祷し、ご冥福をお祈りしました。

宮島町内歩道沿いの樹木名板取り付けは、平成15年3月4日(火)に第1回としてアセビ歩道沿いの樹木、約150本を会員の作業で実施し、第2回は6月22日(日)に予定していましたが、雨天中止となったため末原さんなど役場職員がウグイス道を中心に取り付け作業を実施しました。

今回は3回目で18名の会員に特別参加の専門学校生も加わり、杉の浦旧道の樹木に名板取り付け作業を実施するとともに、今までに取り付けたアセビ歩道、ウグイス歩道の点検チェックも行いました。

名板が作成済みのものは、そのまま取り付け未作成の樹木については、仮のナンバーをホッチキスで止め、後刻名板ができ次第、取り付けることにしました。

8月も下旬ですが、殊のほか残暑厳しい中、参加会員の努力で予定通り作業を終えることができました。



名板取り付け作業

<実施日>平成15年7月5日(土)6日(日)

<場 所>宮島町包ヶ浦自然公園

<参加者> JPR 40名(欠席 2名)

今年度の子どもパークレンジャーの目標を「海と山をつなぐ環境保全活動」にするため、参加者の募集も戸河内町、廿日市市、旧佐伯町、大野町、宮島町の小学校から行い42名が任命されました。

<第1日>

開会行事後の仲間づくりゲームでは、初めて出会う緊張していた子ども達も、徐々に笑顔がみられるようになり、友達とも打ち解けてきたようです。



午後は、2班に分かれてビーチクリーンアップと第1回行事の目玉カヌー体験です。

ビーチクリーンアップでは、世界共通の集計方法で、集めたゴミを種類別に分け数えました。多いのはカキ養殖用のパイプと発泡スチロールですが、特殊なもので1週間前に漁協が清掃焼却した木炭片も多かったようです。

またゴミを数えるのに苦労していた子どもや飽きた子ども達をPVが優しく励ましていました。

カヌー体験では、初めてでしたが子ども達は習得が早く、時間を忘れてスイスイと漕いでいました、



ワンダフル・近藤さん

きれいな海を

第1回 海岸のゴミに JPR 7月5・6日

なかには講師とレースをする子どももいました。

夜は今日拾い集めたゴミの量や種類の発表、全国の海岸漂着ゴミの様子、ゴミが海の生物に及ぼしている被害の状況、環境クイズなどの学習をしました。

その後キャンプ場へホテルの観察に行きましたが



ビーチクリーンアップ



カヌー漕ぎ体験



サファイア・新川さん

汚さない について考える

於包ヶ浦自然公園

時期が遅くて数少ない“ヒメボタル”を見て喚声が上がっていました。大久野島での“海ホタル”との比較参考になればと思います。

<第2日>

磯の水生生物の学習会では、干潟の生き物や干潟の役割について説明を受け、包ヶ浦の浜で見られるハクセンシオマネキやカニなどの生物の標本を見せていただいた。

その後砂浜にでて実物を探しましたが、ハクセンシオマネキを見た子ども達は一様に目をこらしていました、またカニ、ヤドカリ、貝殻など
(以後7頁 右段に続く)

講師
カヌー体験：パドルパーク
ビーチクリーンアップ：
宇宙船地球号の会
水生植物指導：村本 禎子
(宮島水族館ボランティア)

スタッフ
環境省 門田利用指導官
嶋崎環境技官、望月自然保護官
桧垣自然保護官
人間科学研究所 志賀所長
内平 大滝

PV 参加者 (数字) は担当班
末原 (総括) 近藤 (1) 新川 (2) 高光 (3)
舛田 (4) 丸平 (5) 六重部 (6)



干潟での学習会

JPR 各班のネーミング

- 1班 ワン (1) ダフル 2班 サファイア
- 3班 ネイチャーズ 4班 自然環境チーム
- 5班 ライス 6班 ウォーターイングリーン



自然環境チーム・舛田さん



ライス・丸平さん



ネイチャーズ・高光さん



ウォーターイン
グリーン・六重部さん

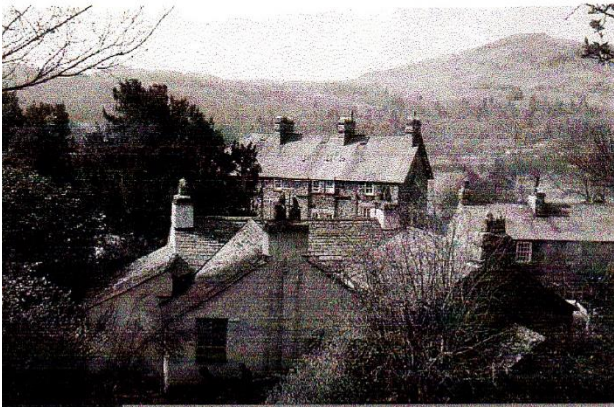
投稿

イギリスの旅

ナショナル・トラストについて 岩崎 義一

4 月の中旬、スコットランドからイングランドを旅しました。エジンバラ～湖水地方～リヴァプール～ストラッドフォード～コッツウォルズ～ストーンヘンジ～ロンドン 5つの世界遺産とシェイクスピアの聖地を巡ってきました。

スコットランドといえばマクベスの彷徨った荒野・ダートムーア（ヒースの茂る原野）というイメージを思い描いていたが、エジンバラの町は「北のアテネ」と言われるほど美しく湖水地方や南部のコッツウォルズは羊の放牧された、のどかな英国田園風景でした。至る所、一斉の花でしたが、ひときわ目立つのは黄水仙。湖水地方は桂冠詩人ワーズワースの詩「水仙」で知られていますが、環境保護運動ナショナルトラスト（N.T.）に関連深い土地柄です。



ワーズワースの家「ダウコッテジ」

N.T.は 19 世紀末に設立されましたが、それ以前からワーズワースやジョン・ラスキン（美術評論家）は環境保護運動の先駆者でピーターラビットの絵本作家ビアトリスク・ポターは後半生を N.T.に捧げました。コッツウォルズ地方では中世の村々（チップングカムデン村、レイコック村など）が住民も住みながら N.T.によって保存され、各地で「オークの葉のマーク」の立て札のある土地や建物が手厚く環境ごと保護されています。ストーンヘンジも N.T.の所有でした。

またロンドンでは青い丸プレート「プラーグ」の付された文化財・史跡が N.T.とは別の組織で守られていて、町々に数多く見られることに感心しました。（漱石の下宿先もシャーロックホームズ・ベーカー街 221B までも）

N.T.は国民的組織としてイギリス全土に 400ヶ所・2500 平方 km を有し、守られている海岸はなんと 920km、全国民の約 5%に近い 270 万人が会員として参加しています。



今回は特別にナショナルトラストに係わって旅行したわけではなく、ごく普通の観光旅行でしたが至る所で N.T.に出くわしたことで、イギリスの奥の深い広範な環境保護意識の高さを知りました。

ロンドンは 6 年ぶりでしたが比較的好景気ということもあり活況、建築ラッシュで、テムズ河畔東岸の高層ビル群やミレニアムタワー、テムズの新橋、大英図書館が移転、大英博物館も改装とずいぶん新しさを感じました。またあらゆる人種の人々が以前より目立つ国際都市の有り様は加速されているようです。

一方でほんの一時間の郊外は昔ながらの緑豊かな英国田園風景がそのままひろがっており、やはりイギリスは魅力的かつ奥が深いとあらためて思い知った旅でした。

◇ワーズワース◇

黄金色に輝く水仙の花 湖のほとり 木立の下に 微風に翻りつつ はた 踊りつつ
——詩集「水仙」より

◇お 知 ら せ◇

次号発行日 12月1日
原稿締切日 10月末日

安井一幸会員ご逝去

安井一幸会員には去る
8月20日、不慮の事故
により、ご逝去されまし
た。(享年66歳)

謹んでお悔やみ申し上
げご冥福をお祈りします。

(8月21付 中国
新聞の記事 ↓)



広島県大野の66歳
西穂高岳で転落死
二十日午前八時半ご
ろ、長野県の北アルプス
西穂高岳の鎖場で、広島
県大野町前空、無職安井
一幸さん(66)が足を滑ら
せ約五十メートル下に転落し
た。仲間が携帯電話で一
〇番し長野県警へリが
救助に当たったが、頭の
骨などを折って既に死亡
していた。

一緒に酒を酌み交わしたいと思っていたのに、
果たし得ず残念です。

奥様をはじめご家族の皆様には、さぞお力
落としてごさいます。謹んでお悔やみ申
上げます。

安井さん。あなたの終わりなく長い旅の平安
なることを、お祈りしてお別れの言葉と致し
ます。

(5頁 左段から)

を見つけては講師に名前や特徴を尋ねていま
した。

最後のゴミについての学習会では、次のテ
ーマについて班ごとに話し合い、発表、意見
交換をしました。

- ①「ゴミ箱に捨てられた新聞紙」はゴミ？
- ②「ゴミ箱から拾われた新聞紙」はゴミ？
- ③「竹やぶに捨てられていた金庫の中の1億
円」はゴミですか？
- ④「道路に放置されたタヌキの死骸」は？
- ⑤「山中で発見された人間の死骸」はゴミ？
- ⑥ゴミの辞書を作ろう(自分なりの辞書とグ
ループの辞書を作成)

※会員の皆様も一度自分なりに考えてみてく
ださい。(末原 記)

安井一幸会員を偲んで

会長 横山忠司

8月21日朝、出勤しようとしていたとこ
ろに、足立副会長から電話で「今朝の新聞に
よると、PVの安井さんが事故にあわれ亡く
なられた」とのことで、あわてて新聞を見る
と、見覚えのある、お名前がありました。と
ても驚き間違いであってほしいと思いました。

私が初めて安井さんにお会いしたのは平成
13年の夏ころ、弥山に週3~4回登ってお
られた時です。とてもチャレンジ精神が旺盛
で、何にでもトライしてみようという若々し
い、お気持ちをひしひしと感じました。

お話しているうちに機会があればPVにな
りたいと言っておられました。丁度その頃
PVの会としても10名位の新会員を募集す
ることとなり入会された経緯があります。

実際PVになられた後、原則として全ての
PV活動に参加することをモットーとすると
言い切っておられました。明るく元気に実
行しておられました。その行動力は、会員の
模範とするところであり、かつ尊敬するこ
ろでした。

個人的には安井さんと足立副会長と私は偶
然にも誕生日が同じで何時の日か、その日に

◆◆ 編集後記 ◆◆

▼今年の夏は梅雨が長引き冷夏と思いきや
盆過ぎから猛暑となり、やはり異常気象の
せいなのかと案じていたところへ安井会員
の遭難という悲報がもたらされました。
安井さんは元気印の代表みたいな方で「弥
山」をこよなく愛し頂上から「もみじ尾根」
を駆け足で下りるのが得意でした。「弥山」
への想いは、本紙にも「弥山に魅せられて」
と題して今年の3月号に寄稿していただい
ています。その中で安井さんが詠まれた漢
詩を再掲させていただきます。

高臥悠々四十春 山中草木是知人

今朝故有辞猿鶴 欲学釣魚瀬戸浜

どうか安らかに眠りください 合掌

(足立)

◇ 事務局連絡事項 ◇

PV行事参加者一覧

NO	氏名	①	②	③	④	⑤	⑥
2	足立 清	○	○			○	○
3	池下 宏		○	雨		○	
4	池田 靖夫						
6	岩崎 義一	○		天			
7	小方 為子						
8	小方 嗣彬			中		○	
9	小川 加代	○				○	
13	近藤 芳子	○		止	○		
14	島 千代喜		○			○	
15	新川 博	○	○		○		
16	末原 義秋	○	○		○	○	
17	高光 幸三				○	○	
18	竹内 栄太郎						
19	谷口 和昭						
20	田村 博子						
21	中道 勉	○	○				○
22	中本 章治		○			○	
23	名越 正子		○			○	○
24	野呂田 恵子	○				○	
25	花見堂 英延						
26	浜本 良子						
27	東丸 久						○
28	平田 広三郎	○	○				○
29	平山 美知子		○			○	
30	佛崎 勝弘	○					
31	古川 義文	○	○				○
32	本田 隆徳						
33	前田 勲	○				○	
34	前田 正人	○	○				
35	舛田 祐子	○			○	○	
36	松尾 健司						○
37	丸平 健二	○			○		
38	宮崎 春雄						
39	村上 光春	○	○			○	
40	森 明彦					○	
41	森川 範吾	○					
42	森広 香代子						
43	安井 一幸	○					
44	柳瀬 佳史	○	○			○	
45	矢吹 浚一	○	○				
46	山根 浩二	○				○	
47	横山 忠司	○	○			○	
48	吉川 直樹						
49	六重部 篤志				○		
		22	16		7	18	7
	桧垣自然保護官	○			○		○

- ①宮島探鳥観察会 6/8 (日)
- ②三高砲台山探訪 6/14 (土)
- ③樹木名板取り付け 6/22 (日)
- ④包ヶ浦 JPR 第1回 7/5~6
- ⑤樹木名板取り付け 8/23 (土)
- ⑥大久野島 JPR 第2回8/30~31

◇ 行事予定 ◇

- 自主観察会 (自然観察)
9月10日 (水) 詰所 9:00 集合
- 石造物調査 (下見)
9月23日 (祝) 詰所 9:00 集合
- 公募観察会 (歴史文化探訪)
10月19日 (日) 9:00
宮島栈橋藤棚前集合
- JPR 第3回 戸河内深入山
10月25 (土) 26 (日)
- 公募観察会下見 (植物観察)
11月15日 (土) 9:00 詰所
- 公募観察会 (植物観察)
11月24日 (祝) 9:30
もみじ谷駅バス停前集合

◇幹事会の開催予定◇

9月13日 (土) 10:00~
11月 8日 (土) 10:00~
場所 宮島詰所

瀬戸内海国立公園

宮島地区 パークボランティアの会

事務局 環境省自然環境局
 広島自然保護官事務所
 (〒730-0012)
 広島市中区上八丁堀6番30号
 広島合同庁舎2号館6階
 TEL/(082)223-7450・FAX(082)223-7451
 宮島詰所
 (〒739-0505) 佐伯郡宮島町 1862-18
 (宮島栈橋 2F)

◆ 退会者 (8月) 安井 一幸